

2018年度 「第11回 言語聴覚の日」イベント報告

5つの仕掛けで 摂食嚥下障害の方の夢をかなえる

● 一般社団法人 茨城県言語聴覚士会

広報局 鈴木 悠史 会長 草野義尊

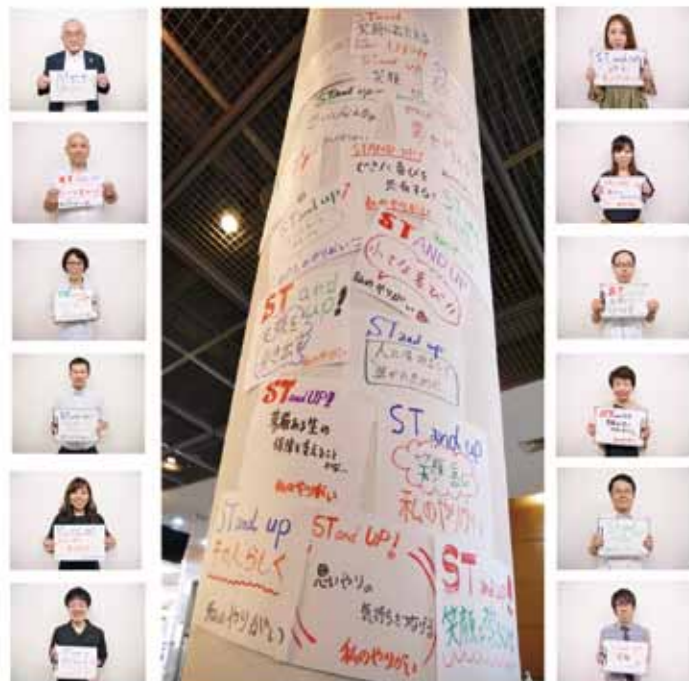


茨城県言語聴覚士会では9月1日に「言語聴覚の日 in いばらき」と銘打ってイベントを開催いたしました。当日は総勢115名の方々にお越しいただき、盛況裡に幕を閉じました。

メインテーマを「摂食嚥下障害者の夢をかなえる」として①市民公開講座、②企業ブースでの機器展示、③相談窓口の開催、④和食レストランチェーン店と共同開発した嚥下食の発表、⑤「STの魅力」PR写真撮影会等5つの催しを用意いたしました。

「夢をかなえる」1つ目の仕掛けは、ご家族やケアスタッフさんへの情報発信として歯科医師の市村和大先生による市民公開講座を企画いたしました。実際のご講演では貴重な症例をご紹介いただきました。受講いただいた方の中には一般の方だけでなく、行政や病院・施設にお勤めの方にもお越しいただき、大変興味深い内容だったと好評を博していました。

2つ目は嚥下障害に悩む方々がより美味しく食べられる支援として機器展示を行いました。「見たことのない最新商品を体験できる」、「サンプルをたくさんもらえる」、「各社の嚥下食をその場で試食できる」など、我々STが学会などで感じている企業ブースの楽しさを一般の方にも味わっていただきたいという思いで、当会を含めて合計10社に参加をお願いいたしました。企業の中には「たくさんの方が体験できるように、サンプルをいつもよりたくさん持って来ましたよ」と声をかけてくださったり、本イベントのチラシを配布してくださったりと、多くの



「STの魅力」PR写真撮影会

方々からご支援いただきました。参加された方からも「施設に帰ったら患者さんに試してみたい」、「気になっていた商品を体験できてよかった」などとコメントをいただきました。

3つ目は当事者や支援者への指導・助言を目的に、相談窓口を用意いたしました。多くのケアスタッフさんや一般の方に参加いただき、摂食嚥下の分野は注目度が高いことがわかりました。

4つ目は「嚥下障害があっても外食したい」、「施設で食べられないお刺身を食べたい」などの要望に、県内に広く店舗を持つ和食レストランチェーン店に相談しご協力いただきました（後日改めてご報告させていただきます）。

5つ目の摂食嚥下障害の方に言語聴覚士が携われることを啓発するために「STの魅力」PR写真撮影会を行いましたので、写真を参照ください。

「魅力度ランキング」は最下位の我が県ですが、多くの方々にご支援いただいたおかげで、「STの魅力」は十分発揮できた催しになりました。

さて、来る2020年には茨城県で日本言語聴覚学会が開催されます。「魅力的な学会」にするためにも、改めて皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



(左) 展示ブースの様子
(下) 講演会終了後、講師の先生も一緒に記念撮影

